

# 投稿

## シルバ、デッド日本記録と初優勝！ 田中、ベンチ日本記録！ (ジャパクラシックPL大会) 国士舘高等学校パワーリフティング部

顧問 中谷 幸市

平成 29 年 3 月 15 日

平成 29 年 2 月 25 日(土)岡崎中央総合公園体育館で、高校 3 年シルバ英樹と大学 4 年田中章太がお互いに生徒、学生の最後の試合に挑戦した。

シルバは、昨年世界大会に行ったが、在学中の全国高校大会での最高順位は 3 位で、本人は相当悔しがっていたようだ。

今回、サブジュニア 83kg 級のデッドの日本記録と優勝の両方を狙っていたので、卒業式直前でそれが達成でき本当に良かった。

「国士舘の先輩たちは必ず優勝する伝統ですが、これでやっと首を並べることができホッとしました。」との本人の弁を聞き、随分気にしていたことを知った。

思い返せば、昨年の世界大会初出場後、得意とするデッドの強化に凄まじい努力をして来た。

とにかく自分の意思が強く、追い込み、オーバーワークなど関係ないといったようなトレーニング構成であり、こちらは、いつも怪我しないかとハラハラさせられた。

また、いい時期に 4 年先輩の田中がちょくちょく授業の合間に練習に来ていたので、いい刺激になったようだ。

まさにお互い切磋琢磨して、同じ目標を目指した。

田中はベンチが得意で、ジュニア 105kg 級ベンチ日本記録を目指し、シルバと同じく昨年の 9 月以降本格的に JCPL を意識して練習した。

地力を上げるため、私のアドバイスを忠実に守り、最終的には 160kg の 2 秒止めベンチを 5 レップスまでやれるようになった。

この子は、高校時代には、いつも阪南大学に行った村野よりもベンチの地力が強かった。



二人の大会結果は次のとおり。

シルバ英樹

S 190 × 190 ○ 202.5 ×,  
B 95 ○ 102.5 ○ 110 ○,  
D 240 × 240 ○ (日本記録)250 ×,  
T 540kg 優勝

田中 章太

S 180 ○ 190 ○ 200 ×,  
B 171 ○ 175 ○ (日本記録)180 ×,  
D 190 ○ 200 ○ 215 ○,  
T 580kg 第4位

尚、シルバは大学に行ってもパワーは続け、もう1年あるサブジュニアで世界を目指し、デッドの世界記録を絶対取ると言っている。

田中は就職が決まっており、新入社員なので練習環境がどうなるか不明であるが、継続してパワーを楽しめればと思っている。

